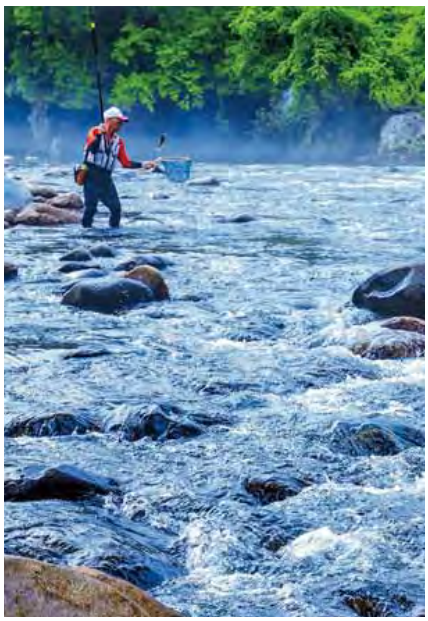
JA ひがしみの

2025 mini DISCLOSURE
ミニ・ディスクロージャー

経営理念

信 頼　組合員と地域の人々に『信頼』されるJAを目指します!
貢 献　自然と人が共生できる社会に『貢献』するJAを目指します!
挑 戦　時代環境の変化に対応し、常に『挑戦』する活気あるJAを目指します!



最近の３事業年度の主要な経営指標

（単位:百万円）

項　　目		令和４年度	令和５年度	令和６年度
経常収益(事業収益)		8,213	8,086	8,296
	信用事業収益	1,792	1,871	1,845
	共済事業収益	949	920	934
	農業関連事業収益	2,848	2,765	2,952
	生活その他事業	2,614	2,523	2,556
	営農指導事業	8	6	6
経常利益		383	423	294
当期剰余金		227	236	160
出資金		2,639	2,688	2,685
純資産額		11,756	11,958	12,039
総資産額		269,361	265,890	258,788
貯金等残高		255,047	251,228	244,272
貸出金残高		33,657	33,953	33,934
有価証券残高		12,736	15,095	16,340
長期共済保有高		528,311	503,052	479,724
購買品供給・取扱高		5,806	5,841	6,232
販売品販売・取扱高		5,034	5,256	5,285
剰余金配当金額		38	39	39
職員数　(人)		313	290	286
単体自己資本比率　(%)		12.58	12.63	13.73

（注１）　経常収益は各事業収益の合計額を表しています。
（注２）　当期剰余金は、銀行等の当期利益に相当するものです。
（注３）　信託業務の取り扱いは行っていません。
（注４）　「単体自己資本比率」は、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」（平成18年金融庁・農水省告示第2号）に基づき算出しています。

農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況

（単位:百万円）

債権区分		令和５年度	令和６年度	増　減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権額		284	236	△ 48
危険債権額		27	22	△ 4
要管理債権額	三月以上延滞債権額	–	–	–
	貸出条件緩和債権額	4	2	△ 2
小　計(A)		315	216	△ 54
うち担保・保証付債権額(B)		107	85	△ 22
担保・保証控除後債権額(C)		207	175	△ 32
個別計上貸倒引当金残高(D)		201	170	△ 30
一般計上貸倒引当金残高		8	2	△ 5
正常債権額(F)		33,773	33,754	△ 18
債権額合計(G)＝(A)＋(F)		34,088	34,015	△ 73

（注１）破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
（注２）危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。
（注３）要管理債権とは、(注４)「三月以上延滞債権」と(注５)「貸出条件緩和債権」の合計額をいいます。
（注４）三月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。
（注５）貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。
（注６）担保・保証付債権額とは、農協法に基づく開示債権額のうち、貯金・定期積金、有価証券(上場公社債、上場株式)及び確実な不動産担保付の貸出残高ならびに農業信用基金協会等公的保証機関等による保証付の債権についての当該担保・保証相当額です。
（注７）個別計上貸倒引当金残高とは、農協法に基づく開示債権のうち、すでに個別貸倒引当金に繰り入れた当該引当金の残高です。
（注８）担保・保証控除後債権額とは、農協法に基づく開示債権額から、担保・保証付債権額を控除した債権残高です。
（注９）正常債権とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

貸借対照表

令和７年３月31日現在　（単位:千円）

科　目	金　額	科　目	金　額
(資産の部)		(負債の部)	
1. 信用事業資産	240,900,272	1. 信用事業負債	244,567,925
①現金	966,002	①貯金	244,272,427
②預金	188,714,180	②借入金	994
系統預金	188,683,346	③その他の信用事業負債	294,503
系統外預金	30,834	未払費用	82,963
③有価証券	16,340,785	その他の負債	211,539
国債	5,842,384	④債務保証	–
地方債	400,000	2. 共済事業負債	907,615
社債	10,098,401	①共済資金	560,207
④貸出金	33,934,779	②未経過共済付加収入	329,766
⑤その他の信用事業資産	1,118,460	③共済未払費用	13,786
未収収益	1,025,985	④その他の共済事業負債	3,854
その他の資産	92,475	3. 経済事業負債	527,779
⑥債務保証見返	–	①経済事業未払金	365,156
⑦貸倒引当金	△ 173,937	②経済受託債務	131,819
2. 共済事業資産	9,622	③その他の経済事業負債	30,803
①その他の共済事業資産	9,622	4. 雑負債	341,919
3. 経済事業資産	2,686,939	①未払法人税等	19,342
①受取手形	2,210	②資産除去債務	31,649
②経済事業未収金	1,903,235	③その他の負債	290,926
③経済受託債権	13,637	5. 諸引当金	404,238
④棚卸資産	727,489	①賞与引当金	162,600
購買品	298,542	②退職給付引当金	222,541
貯蔵品	119,131	③役員退職慰労引当金	19,097
その他の棚卸資産	309,815	負債の部　合計	246,749,477
⑤その他の経済事業資産	41,938	(純資産の部)	
⑥貸倒引当金	△ 1,572	1. 組合員資本	12,156,795
4. 雑資産	372,126	①出資金	2,685,332
5. 固定資産	3,322,159	②再評価積立金	816
①有形固定資産	3,164,076	③利益剰余金	9,485,442
建物	6,157,339	利益準備金	3,035,179
機械装置	2,146,108	その他利益剰余金	6,450,263
土地	1,205,037	経営基盤強化積立金	3,432,160
その他の有形固定資産	1,540,074	農業経営支援積立金	50,000
減価償却累計額	△ 7,884,484	税効果調整積立金	141,168
②無形固定資産	158,083	特別積立金	2,152,437
6. 外部出資	11,394,126	当期未処分剰余金	674,497
系統出資	11,141,225	(うち当期剰余金)	(160,459)
系統外出資	248,001	④処分未済持分	△ 14,796
子会社等出資	4,900	2. 評価・換算差額等	△ 117,749
7. 繰延税金資産	103,277	①その他有価証券評価差額金	△ 117,749
		純資産の部　合計	12,039,046
資産の部　合計	258,788,524	負債及び純資産の部　合計	258,788,524

損益計算書

令和６年４月１日～令和７年３月31日　（単位:千円）

科　目	費　用	収　益	差引損益
信用事業	412,022	1,845,919	1,433,897
共済事業	50,95	934,634	883,679
購買事業	3,399,728	4,035,247	635,519
販売事業	439,497	592,135	152,638
保管事業	4,363	9,549	5,186
哺育センター事業	122,555	156,884	34,329
堆肥センター事業	68,921	75,047	6,126
利用事業	415,661	576,431	160,770
作業受委託事業	–	409	409
葬祭事業	2,447	29,929	27,482
その他事業	11,837	29,642	17,805
指導事業	32,863	10,559	△ 22,304
1．事業総利益	4,960,849	8,296,385	3,335,536
2．事業管理費			3,266,299
事業利益			69,236
3．事業外収益			186,644
4．事業外費用			6,023
経常利益			249,857
5．特別利益			43,211
6．特別損失			81,102
税引前当期利益			211,966
法人税等合計			51,506
当期剰余金			160,459
当期首繰越剰余金			475,753
経営基盤強化積立金取崩額			32,790
税効果調整積立金取崩額			5,493
当期未処分剰余金			674,497

●記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。
そのため、表中の合計額並びに増減が一致しない場合があります。

自己資本の状況

自己資本管理方針

自己資本管理とは、自己資本充実に関する施策の実施、自己資本充実度の評価及び自己資本比率の算定を行うことです。

当ＪＡでは、内部留保の積み増しにより、自己資本の充実に努めており、自己資本比率が国際統一基準の８％を大きく上回っています。

また、「自己資本比率算出要領」及び「自己資本比率算出事務手続」を制定し、系統BISシステムにより、自己資本比率を的確に算出しています。

なお、組織面では、事業推進部門から独立した企画管理担当部署が自己資本比率を算出し、けん制機能が発揮される態勢を整備しています。

自己資本比率の状況

当ＪＡでは、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者の皆さまのニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。内部留保に努めるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、令和７年３月末における自己資本比率は、13.73%となりました。

経営の健全性の確保と自己資本の充実

当ＪＡの自己資本は、組合員の普通出資によっています。

【普通出資による資本調達額】

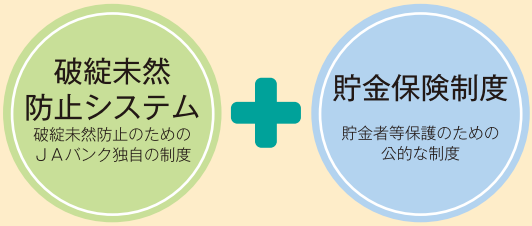
項　目	内　容
発行主体	東美濃農業協同組合
資本調達手段の種類	普通出資
コア資本に係る基礎項目に算入した額	2,685百万円(前年度2,688百万円)

当ＪＡでは、「自己資本比率算出要領」を制定し、適正なプロセスにより正確な自己資本比率を算出して、当ＪＡが抱える信用リスクやオペレーショナル・リスクの管理及びこれらのリスクに対応した十分な自己資本の維持を図るとともに、内部留保の積み増しにより自己資本の充実に努めています。

また、平成19年度から、信用リスク、オペレーショナル・リスク、金利リスクなどの各種リスクを個別の方法で質的または量的に評価し、リスクを総体的に捉え、自己資本と比較・対照し、自己資本充実度を評価することにより、経営の健全性維持・強化を図っております。

JA バンク・セーフティネット

ＪＡバンクでは、「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」により「ＪＡバンク・セーフティネット」を構築しています。
これにより、組合員・利用者の皆さまにより一層の安心をお届けしています。



主な事業のご案内

信用事業

信用事業は、貯金、貸出、為替等、いわゆる銀行業務を行っています。この信用事業は、ＪＡ・信連・農林中金という三段階の組織が有機的に結びつき、「ＪＡバンク」として大きな力を発揮しています。

共済事業

ＪＡ共済は、ＪＡが行う地域密着型の総合事業の一環として、組合員・利用者の皆さまの生命・傷害・家屋・財産を相互扶助によりトータルに保障しています。事業実施当初から生命保障と損害保障の両方を実施しており、個人の日常生活のうえで必要とされるさまざまな保障・ニーズにお応えできます。

ＪＡ共済では、生命・建物・自動車などの各種共済による生活総合保障を展開しています。

指導事業

安全・安心でより高品質な農畜産物を生産するための営農指導をはじめ、新規就農者の開拓及び支援を行っています。

生活指導では組合員の豊かな生活と健康で安心して生活できる地域づくりを目的に女性部活動や生活習慣病健診を行い、また、毎月の広報誌で身近な情報や「食」と「農」についての話題を発信しています。

販売事業

生産者から消費者へ新鮮で安全・安心な農畜産物をお届けする事業を行っています。東美濃独自販売として米の買取販売を実施しており、中山間地域の特徴を活かした東美濃棚田米の販売も行っています。

また、生産者が生産した農畜産物を市場に出荷するほか、契約出荷等により「東美濃ブランド」の確立に取り組んでいます。

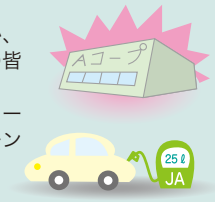
利用施設事業

農作業の省力化と農畜産物の品質の向上を図るためカントリーエレベーター、ライスセンター、水稲育苗センター、農産物選果場、堆肥センター等の施設を運営しています。

購買事業

農業生産に必要な肥料・農薬・農機具等のほか、暮らしに必要な生活用品等、組合員はじめ地域の皆さまに提供するための事業を展開しています。

組合員メリットの充実を目的として、組合員カードを利用した購買事業での割引を給油所・グリーンセンター・Aコープで特定日に行っています。



農業振興活動

集落営農の組織化を含めた担い手の育成と支援

集落営農の組織化または法人化の支援を実施しています。また、東美濃担い手協議会と連携を図り、農地集積や作物の作付け提案を行っています。

担い手支援資金の状況

経営所得安定対策の対象となる集落営農組織等に対し、JAと行政（中津川市・恵那市）が利子の一部を補給する「担い手支援資金」により、担い手づくりを資金面からも支援しています。

安全･安心な農産物づくりへの取り組み

「GAP（ギャップ）（農業生産工程管理）」に取り組み、消費者から信頼される農産物の生産に努めています。

農業体験への支援

地域の小学校等が実施する農業体験学習を支援し、農業に対する理解を深める活動をしています。

農業祭の開催

地域住民とのふれあいや、食と農の大切さを伝えることを目的とした「ひがしみの農業祭」を毎年11月に開催しています。地産地消のPRとして東美濃特産物のお米や飛騨牛、栗旨豚の販売等も行っています。

地域貢献活動

文化的・社会的貢献に関する事項

環境保全への取り組み

地域の環境保全の一環として、農業用使用済プラ資材の回収と廃農薬の回収に取り組んでいます。
また、プランターや花壇を利用して店舗周辺の緑化活動に努めています。

バイオマス（生物資源）活用への取り組み

家畜排泄物から堆肥を製造する資源循環型施設の「堆肥センター」を運営し、地域資源の有効利用と環境保全を目指します。

高齢者等の見守り活動

中津川市・恵那市と協定を結び、支援を必要としている方を早期に発見し、危機回避を図り、安心して生活できる地域環境を保持するため、高齢者等見守り活動を行っています。

食農教育への取り組み

地域の親子や保育園・幼稚園・小中学校を対象に農作業体験や地元農畜産物を使った調理・食文化の指導を行っています。親子農業体験「アグリスクール」を開催して食農教育活動に取り組んでいます。

助けあい組織の活動

各地域で助けあい組織（たんぽぽの会・コスモスの会・わかば会・つくしの会）を結成し、施設ボランティア等の地域に密着したボランティア活動を行っています。

各種無料相談会

社会保険労務士、税理士、弁護士及び年金担当職員による各種無料相談会を毎月開催しています。
・年金相談　・税務相談　・法律相談

ボランティア活動

地域の住みやすい環境づくりとして、定期的に店舗周辺での清掃活動や交通安全活動に取り組んでいます。また、本店での献血運動にも積極的に参加しています。

利用者ネットワーク化への取り組み

年金友の会

毎年、親睦旅行、ゲートボール大会等、会員相互のふれあいの場を提供しています。また、お誕生日プレゼント等のさまざまな特典が受けられます。

おすすめ講座・サークル活動の開催

『JA女性　地域で輝け　50万パワー☆』をテーマに、おすすめ講座等を開催しています。

情報提供活動

ＪＡ広報誌の発行（毎月）

広報誌『ひがしみの』を毎月発行し、農業に関する情報や地域に密着した情報を発信しています。

ホームページ等による情報発信

ホームページでは、当ＪＡの概要や各事業、店舗・事業所の紹介、ディスクロージャー等を公開しています。また管内の農業についての情報も掲載しています。また、LINE公式アカウントの運営を開始し、旬の情報を発信しています。

JAひがしみの公式LINE

ATM店舗等のご案内

【令和７年７月末現在】

店舗名	ATM稼働時間 平日	土曜日	日曜日・祝日	電話番号（0573）
本店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	78-0123
ローンセンター中津川店	*	*	*	65-3145
ローンセンター恵那店	*	*	*	26-2999
中津川支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	65-3144
苗木支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	65-4391
落合支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	69-3203
坂本支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	68-2155
阿木支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	63-2321
恵那北部支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	27-3344
中野方営業所	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	23-2211
恵那西支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	28-2026
三郷営業所	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	28-1002
恵那支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	25-5291
岩村支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	43-2135
山岡支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	56-2121
明智支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	54-2171
上村支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	47-2311
蛭川支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	45-2311
坂下支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	75-4111
加子母支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	79-2241
付知支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	82-2121
福岡支店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	72-2121

店舗外設置キャッシュコーナー

中津川市役所	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	
ルビットタウン中津川	10:00～21:00	10:00～21:00	10:00～21:00	
中津川グリーンセンター	9:00～18:00	9:00～18:00	9:00～18:00	
バロー苗木店	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	
えなグリーンセンター	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	
加子母経済センター	8:30～17:30	*	*	
神坂キャッシュコーナー	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	
飯地キャッシュコーナー	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	
東野キャッシュコーナー	8:45～17:00	*	*	
串原キャッシュコーナー	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	
下野キャッシュコーナー	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	

（注１）＊印は稼働しておりません。
（注２）年末年始は稼働時間が変更になります。
（注３）ルビットタウン中津川の休業日は稼働しておりません。また、ルビットタウン中津川では振込みはできません。

JAひがしみのポイントサービスのご案内

JPバンク ゆうちょ銀行　JAバンク　セブン銀行　ローソン銀行　e-net

「JAひがしみのポイントサービス」

JAひがしみのポイントサービスとは、JAバンクとのお取引内容により、提携している郵貯銀行のATMやコンビニATM※1における入出金手数料の無料化の優遇を行います。
点数の合計に応じて、3段階のステージをご用意しており、JAとのお取引のある個人個人の方すべてが対象です。
※1 コンビニATM:セブン銀行、ローソン銀行およびイーネット
※2 申込は不要です。

優遇内容の一例

ゆうちょATM・コンビニATMの入出金手数料を無料化※

ステージ1（0～99Pt）	ステージ2（100～199Pt）	ステージ3（200Pt～）
1回無料/月	2回無料/月	3回無料/月

配点対象取引一覧表

項目	種類等	判定基準	配点
給与振込	給与・賞与	1か月間に入金1回以上/金額5万円以上	100Pt
年金振込	公的年金・農業者年金・その他の年金	（年金の種類により最大1年間に）入金1回以上	100Pt
JAカード決済	JAカード決済	3か月間に1回以上のカード決済	50Pt
貯金	当座・普通・総合・貯蓄・定期性貯金（決済用貯金を除きます）	月末時点の残高10万円ごとに配点（最大500万円まで）※定期積金については、給付契約額を対象とします。	2Pt
ローン	当組合所定のローン	月末時点の残高500万円以上	100Pt
		月末時点の残高500万円未満	50Pt

ステージ適用サイクル

月末時点の取引等からお客様毎に点数を計算し、その合計をもとに3ステージに区分し、翌月25日から翌々月24日までの1か月間、お客様毎にステージを適用いたします。

参考例　8月中（8月1日～8月31日）の取引を集計のうえステージを決定し、翌月の9月25日から翌々月の10月24日の間にステージに応じた優遇内容を適用いたします。

8月中(8/1～8/31)の取引の集計 → 8月中のステージ適用期間（9/25～10/24）
9月中(9/1～9/30)の取引の集計 → 9月中のステージ適用期間（10/25～11/24）

JAひがしみの　※詳しくは、お近くのＪＡ各支店・営業所窓口までお問い合わせください。

本冊（ディスクロージャー2025）をご希望の方は、本店・支店・営業所の窓口にお申し出下さい。